

(表紙)

室戸市南海トラフ巨大地震等による大規模災害に強い地域づくりの推進(第2期)(防災・安全)

# 都市防災事業計画

都市防災総合推進事業（室戸地区）

当初

高知県室戸市

令和4年1月

(様式1)整備方針等

整備方針等

**【防災まちづくりの現状及び課題】**

(市域全域及び事業地区【室戸地区、室戸岬地区、佐喜浜地区、吉良川地区、羽根地区】における防災上の現状及び課題)

室戸市は、高知県東部に位置し、東西18.6km、南北27kmの総面積248.22km<sup>2</sup>で高知市の東方78kmにあり、人口は12,552人です。(令和3年4月1日現在)太平洋にV字形に突出した室戸岬を中心に海岸線が東西53.5km有り、面積の約8割以上を標高300～800mの山林が占め、海岸近くでは特異な海成段丘を形成しています。産業は古くから遠洋・近海漁業及び沿岸漁業を中心とし、温暖多雨な気候を利用した農作物の栽培も行われています。室戸市は、世界ジオパークに認定され、海洋深層水等の地域資源を利用した産業による地域活性化にも取り組んでいます。集落は東西に延びる海岸に点在し、その背後地は急傾斜の砂礫層が基盤岩上に堆積した地層で過去から繰り返される地殻変動により隆起域に形成されています。

室戸市では、以前から南海地震や南海トラフ地震の発生が危惧されており、公共施設(市民館、公民館、小中学校等)の耐震化や民間建築物の耐震化促進等を行ってきました。また、平成23年3月に発生した東日本大震災以降に高知県により公表された「高知県版第2弾南海トラフ巨大地震による震度・津波浸水予測(平成24年12月10日)」「南海トラフ巨大地震による被害想定(平成25年5月15日)」に基づき、地震の揺れに対する対策や津波避難計画の策定を行い、津波に対する避難困難地域の解消のために、津波避難路整備や津波避難タワーの整備等の対策を行ってきました。

今後も引き続き、都市防災力の強化を進めて行くことが求められています。

**【整備方針】**

(市域全域及び事業地区【室戸地区、室戸岬地区、佐喜浜地区、吉良川地区、羽根地区】における防災上の課題解決のための整備方針)

室戸市総合振興計画後期基本計画令和3年度～令和11年度では、防災・交通・情報通信分野の目標として「安全に安心して暮らせるまちづくり」を掲げています。これを踏まえ、室戸市地域防災計画地震及び津波災害対策編第2章災害予防対策に基づき、地震及び津波災害に強い市づくりを推進していきます。

**①津波避難路の整備**

津波避難路は、南海地震や南海トラフ地震をはじめ様々な自然災害が発生した場合の避難に重要な施設です。そのため、避難路の幅員確保、地震等による路肩崩壊予防や手摺りの整備を行い、避難場所へ避難の安全性の向上を図ります。

**②津波避難タワーの整備**

津波避難タワーは、災害発生時に多くの市民が危険を回避できる施設となり、高齢化率の高い本市の課題として避難困難地域で生活している災害時津波避難行動要支援者等が津波から身を守る施設であることが求められています。そのため、高台への避難が困難な地域においては、スロープ付きの津波避難タワーの整備を行います。

(様式2)計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	室戸市	計画期間	令和4年度 ～ 令和8年度
担当部局名	防災対策課 防災対策班	担当者	(主)正木 徹 (副)山中 靖	連絡先	TEL 0887-22-5132 FAX 0887-22-1120 e-mail <a href="mailto:mr-011900@city.muroto.lg.jp">mr-011900@city.muroto.lg.jp</a>

事業区分	事業主体	事業地区名		地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額		
					開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費	
地区公共 施設等整備	地区公共	室戸市	室戸地区	道路(市道向江線) N=1箇所	4,200	R5	R8	2/3	54.9	36.6
	地区緊急避難施設 (直接)	室戸市	吉良川地区	津波避難タワー(工損事後調査) N=1箇所	6,200	R4	R4	2/3	6.0	4.0
		室戸市	室戸地区	津波避難タワー N=1箇所	4,200	R5	R6	2/3	204.9	136.6
合計									265.8	177.2

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式4)年度別事業計画【参考】

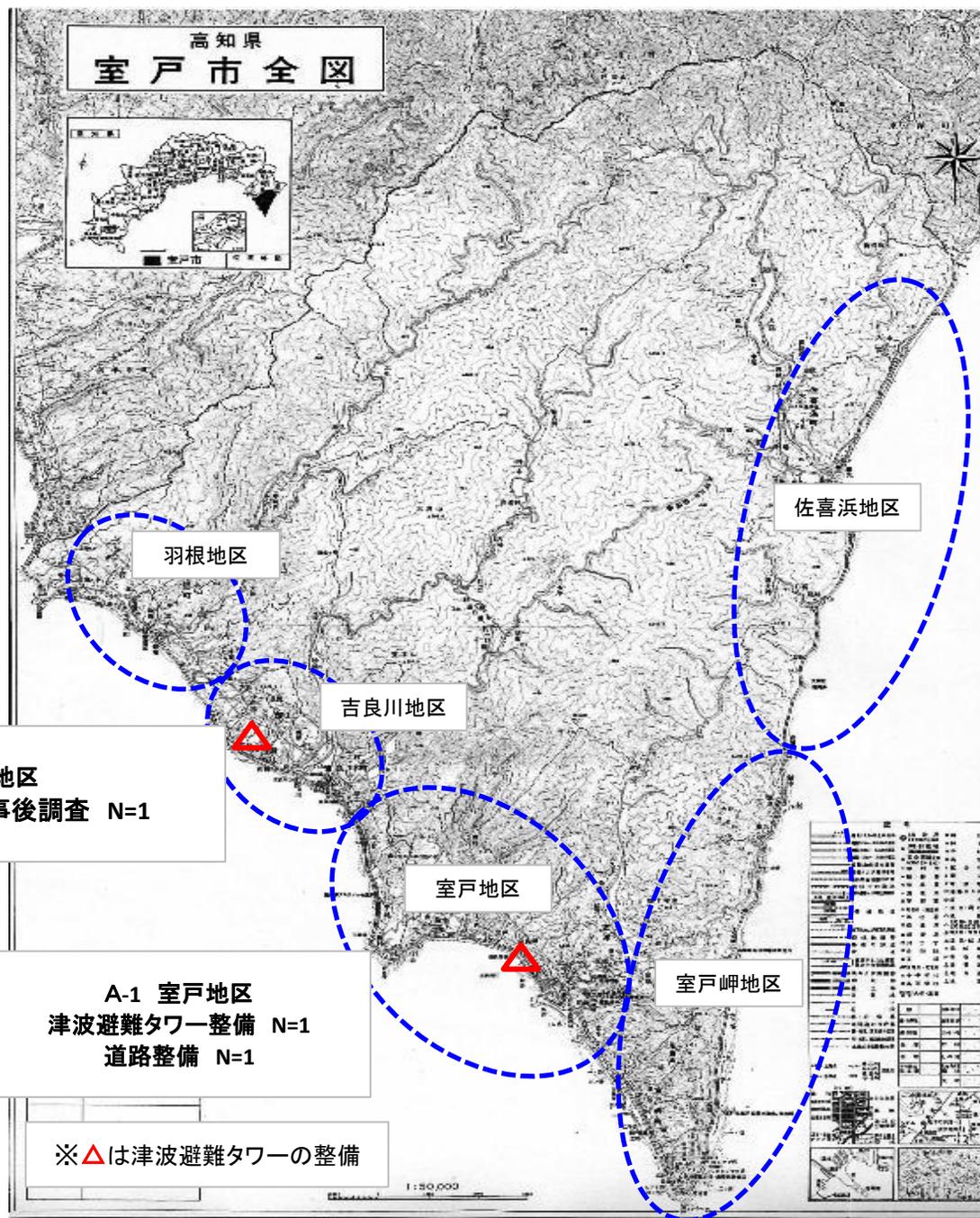
[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]						
						R4	R5	R6	R7	R8	計	
地区公共施設等整備	地区公共	室戸市	室戸地区	道路(市道向江線)N=1箇所 W=5.0m、L=500m	×	2/3		6.6	10.0	10.0	10.0	36.6
	地区緊急避難施設	室戸市	吉良川地区	津波避難タワー(工損事後調査) N=1箇所	×	2/3	4.0					4.0
			室戸地区	津波避難タワー N=1箇所 H=11.0m A=100m <sup>2</sup>	×	2/3		8.3	128.3			136.6
合計						4.0	14.9	138.3	10.0	10.0	177.2	



(様式6) 現況図 等[高知県室戸市 津波避難困難者ゼロプログラム] (全体図)

地区名	室戸地区	面積	24.8ha	避難困難者数	274人	区域	高知県室戸市
-----	------	----	--------	--------	------	----	--------



A-1 吉良川地区  
津波避難タワー工損事後調査 N=1

A-1 室戸地区  
津波避難タワー整備 N=1  
道路整備 N=1

※△は津波避難タワーの整備

地区名	面積	避難困難者数	整備状況
羽根地区			
吉良川地区			
室戸地区			
室戸岬地区			
佐喜浜地区			

(様式6) 現況図 等[高知県室戸市 津波避難困難者ゼロプログラム] (1/1)

地区名	室戸市室戸地区	面積	12.1ha	避難困難者数	274人	区域	高知県室戸市
-----	---------	----	--------	--------	------	----	--------

1.津波避難困難者の解消計画

	地区名	地区面積 (ha)	避難困難 者数(人)	避難困難者解消 目標年度				
				R4	R5	R6	R7	R8
1	室戸地区(脇地)	6.5	174					174
2	室戸地区(浮津三番町)	5.6	100			100		
計		12.1	274			100		174

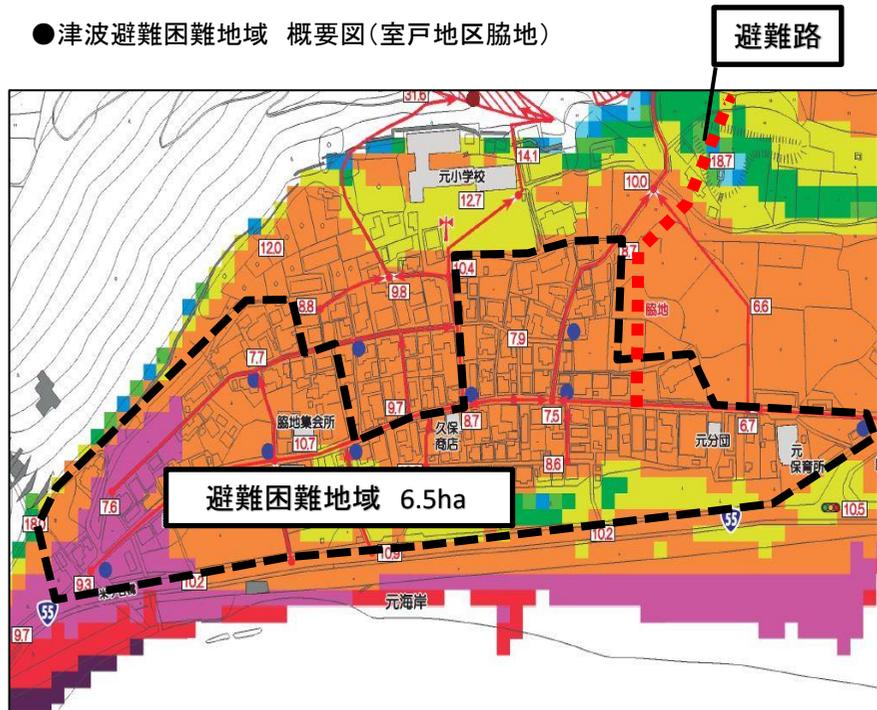
2.津波避難施設の整備計画

	地区名等	整備内容	整備目標年度					事業費 (百万円)	国費 (百万円)
			R4	R5	R6	R7	R8		
1	室戸地区(脇地)	避難路		設計	工事	工事	工事	54.9	36.6
2	室戸地区(浮津三番町)	津波避難タワー		設計	工事			204.9	136.6
計								259.8	173.2

室戸地区浮津三番町津波避難タワー  
(防災まちづくり拠点施設整備)

- ・避難対象面積 5.6ha
- ・津波浸水深 H=6m
- ・津波到達時間 20分
- ・想定避難者数 100人  
(地区人口251人)
- ・避難床面積 100㎡  
(算出根拠 1㎡×1人=100㎡)
- ・避難床高(地盤面より) 12.5m

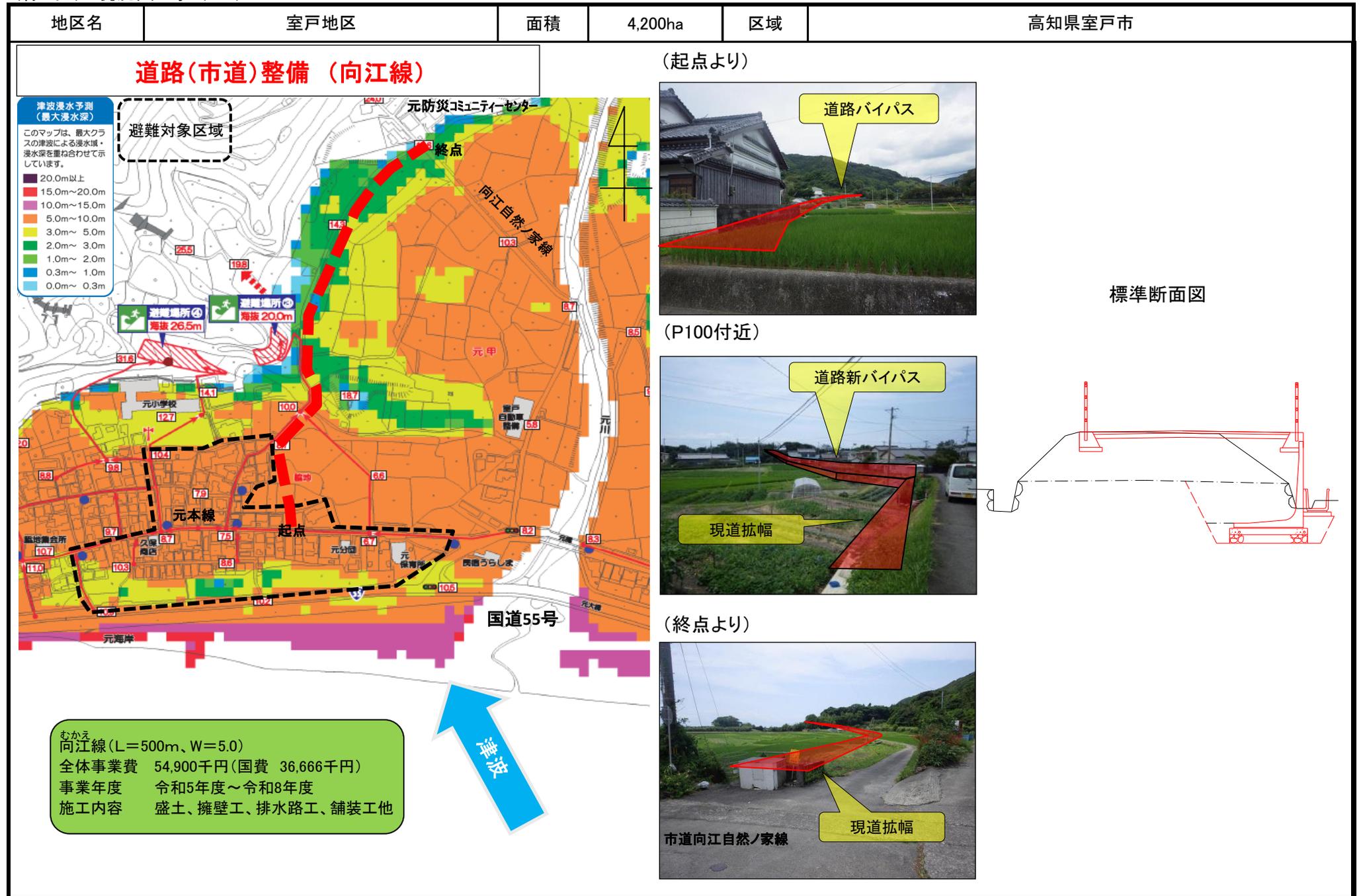
●津波避難困難地域 概要図(室戸地区脇地)



●津波避難困難地域 概要図(室戸地区浮津三番町)



(様式6) 現況図 等 (1/3)



(様式6) 現況図 等 (2/3)



地区名	吉良川地区	面積	6,200ha	区域	高知県室戸市
-----	-------	----	---------	----	--------

- ・西灘地区津波避難タワー工損事後調査

### 現場写真

#### 【目的】

令和3年度に発注済の西灘地区津波避難タワー  
建築工事に係る工事損害事後調査を令和4年度  
に実施するものである。



#### 凡例

○ : 工損事後調査範囲

▨ : 津波避難タワー建設